

技術士資格活用委員会  
産業界活用推進チーム

## マスメディアを使った PR 方法の試行案

技術士資格活用委員会委員長 笠原弘之  
産業界活用推進チームリーダー 笹口裕昭

「技術士制度改革に関する論点整理」（平成 31 年 1 月 8 日：科学技術・学術審議会 技術士分科会）において、社会全体における技術士の認知度向上のため各種マスメディアを活用するという方向性が示された。これを踏まえ技術士資格活用委員会のミッションの一つとして、「社会における技術士認知度向上策の検討及び広報活動」が挙げられている。本委員会ではこの一環として下記の提案を吟味した結果、これを実施することにした。今後、広報委員会など関係委員会とも協議し、具体的に進めて行く。

### 1. マスメディアを使った PR の有効性

技術士が活躍している姿を、多くの一般社会の人々に知ってもらうためにはテレビやラジオ、また最近の YouTube や SNS などの媒体を使った方法などが考えられる。

一般社会の人たちに広く“技術士”的名前を知ってもらい、身近なところにある様々なテクノロジーの発展の裏に常に“技術士”的存在があることを、多くの人たちに理解してもらいたい。

そして、次世代を担う若者や子供たちが将来技術士になって、世界の国々の文化の発展を支えたいと考えてくれるような PR をするには、技術士会が今まで十分な取り組みをして来なかつたマスメディアを使った情報発信を新たに提案する。

### 2. 最初の取組み

技術士が活躍している姿をマスメディアを使って PR していくために、まず公益社団法人としての公共性を維持しながら、アカデミックな雰囲気の中にも人々の心に響き、感動を与えるコンテンツを作っていくべきであると考えている。

その意味で、個人的な情報発信の媒体である YouTube や Twitter などの SNS を使うのではなく、まずは公共放送を使った PR の入口として、比較的取り組みやすい FM ラジオを使った番組作りを企画する。

### 3. FM ラジオ局の選択

世の中には多くのラジオ局が存在しているが、正規の放送法に基づき総務省からの認可を受けた FM 局の一つである八王子 FM (Tokyo Star Radio) から、その番組内で「技術士と語るコーナー」の実現に向けて好意的な回答をもらったので、すでに検討に着手した。

### 4. 企画の概要

八王子 FM の番組のうち、「シュークニヒロのワールドソングコミュニティ（毎週金曜日 21:00~21:55）」という番組の中で、隔週で毎回 24 分間のコーナーを用意できそうである。

放送期間は 1 クール（3 か月間）で、放送回数は合計 6 ないし 7 回となる。

毎回 24 分間の中身は我々が自由に企画でき、自分たちで MC をしてもよいし、クニヒロ氏に依頼してもよい。若手の女性技術者や理工系の女子大生から MC を公募する案もある。

毎回、各界で活躍する技術士を選び、いろいろな話題を、一般の人たちにもわかりやすく提供し、世の中に技術士という人たちが科学技術イノベーションの推進役として活躍している姿を、若い人たちにも入っていきやすいテーマのもとに、紹介していく。

## 5. 企画の草案

ラジオ番組の経験がある金属部会の若手メンバーに素案を練ってもらい、資格活用委員会の若手メンバーも適宜加わって、トークの人選や内容を検討していく。窓口 TL が常に内容をチェックし、技術士としてふさわしい内容（かといって決して固くならず、品位も汚さず）であることを確認しながら企画を進める。

放送はすべて事前にスタジオで収録する。収録前に技術士会として番組の毎回の企画が事前にチェックできるような仕組みを検討する。また、公共放送であるため、事前に著作権や放送法から逸脱するような内容にならないように、ラジオ局側で確認を行う。

## 6. 番組制作費用

1 クール（3か月）6~7回 x 24 分/回で、企画構成のアドバイス、スタジオでの収録、内容の編集、BGM のセットイン、アーカイブの作製まで含めて、おおよそ 70 万円である（別途見積書を受領する）。2021 年 1~3 月の放送を目指している。

## 7. FM 放送後の波及効果

FM 放送は、リアルタイムの放送だけでなく、ネット配信もされており、例えば FM アプリのリスラジ（Listen Radio）を使えばスマホでもいつでも放送を聴くことができる。また、放送界ではいつでも話題となるコンテンツを探しているので、アーカイブの中から適宜他の放送局でも放送できる可能性も出てくる（港区でも聴ける地域 FM 局もある）。アーカイブを YouTube などでコンテンツを公開できる。また、テレビ・雑誌などの取材を受けて、番組などの企画作りの将来の可能性にもつながる。

## 8. 追記（技術士 Promotion Video の作成）

上記の FM ラジオ番組の作成に続いて、技術士 PR 用 PV の作成も資格活用委員会の活動として視野に入れている。現在、PV 作成をサポートしてくれるウェブデザイナーと接触している。2021 年 1 月以降の活動となる（3 年目の活動の柱）見込みであるが、早めに予算が付けば、ラジオ制作に並行して、準備作業を進めて行きたいと考えている。

以上、技術士資格活用委員会の 2 年目の活動の一つとして、FM ラジオを使った技術士 PR の方法を試行しながら、有効で、しかも思わぬところからの波及効果も生じることを期待して、PR 活動に取り組んでいくこととした。

以上